

屋久島が教える、西表島が「今」すべきこと

～島民の手で自然と暮らしの未来を守るために～

日時：2018年4月15日 14:00～16:30（開場 13:30）

場所：わいわいホール

主催：JTEF 西表島支部 やまねこパトロール



入場無料

開催趣旨：今年6月24日から中東のバーレーンで開催される「ユネスコ世界遺産委員会」で、西表島が世界自然遺産に登録されるかどうかが決まります。仮に今年登録が決まった場合、3年後の2021年には観光客数が現在の2倍である70万人に増えると予測されています。そのことが島の暮らし、イリオモテヤマネコの交通事故、壊れやすい生態系にどのような変化を起こすのか？ それに対してどのような備えが必要なのか？

日本で最初に世界自然遺産に登録された屋久島の事例を参考に、島民の皆さんの懸念、疑問、意見を出し合って一緒に考えていきたいと思えます。

進行

14:00 - 14:15 やまねこパトロールとJTEF=トラ・ゾウ保護基金の自己紹介

14:15 - 15:30 対談：「世界自然遺産登録：屋久島の教訓と西表島へのメッセージ」

大牟田一美（屋久島うみがめ館）×高山雄介（やまねこパトロール）

15:30 - 15:40 休憩

（司会進行）坂元雅行（JTEF）

15:40 - 16:30 フリーディスカッション～参加者の方々とともに～

大牟田一美（おおむたかずよし）さんのプロフィール

屋久島出身。鹿児島県屋久島の永田浜は北太平洋最大のアカウミガメの産卵地で、絶滅危惧種のアカウミガメ保護を介して砂浜を守ろうと1985年「屋久島ウミガメ研究会」を発足、2001年「NPO法人屋久島うみがめ館」を設立、屋久島でウミガメの生態調査・研究及び環境保全・啓発活動などを行っている。1993年、屋久島が世界自然遺産に登録されてからウミガメの見学者は4倍以上に増え、それまでは7月で終了していた夜を徹しての調査・保護活動を子ガメが完全に海に還る9月まで延長することを余儀なくされた経験等がある。

ご連絡先：JTEF 西表島支部やまねこパトロール 〒907-1541 沖縄県八重山郡竹富町字上原 656-2

TEL.0980-85-6208 E-mail: takayama@jtef.jp